

SC通信

令和8(2026)年9月発行
発行 社会福祉法人みよし市社会福祉協議会
協力 生活支援コーディネーター



▼ SC(生活支援コーディネーター)とは？

地域で暮らす高齢者や住民が、住み慣れた場所で安心して暮らせるように福祉サービスだけでなく、地域の団体や人々をつなぎ、困りごとを解決するための“調整役”です。

今回のSC通信では、
【協議体で生まれたつながり】を支える人をご紹介します。



地域の習字が得意な子が書いてくれました。毎月の第1層協議体時には会議案内として使用しています。

つながり広がる!! 協議体のマッチング事例

- ① おかよし・きたよし地域
【得意をいかして地域の先生に】
- ② なかよし地域
【協議体がつないだ学校と地域】
- ③ みなよし地域
【協議体から始まった施設の新たな取り組み】



過去のSC通信はこちら

この通信はみよし市からの
受託事業で発行しています



正課クラブで
講師を務める浦川さん

?

どんな活動？

第2層協議体への参加がきっかけとなり、施設入所者の浦川さんが、緑丘小学校の正課クラブ「アートクラブ」の講師として参加、得意な編み物を児童に教えています。子どもたちと交流しながら、地域との新たなつながりが生まれています。

1

協議体に参加したきっかけは？

地域包括支援センターから誘われて、第2層協議体へ参加しました。協議体では施設で行っている活動や入所者さんの得意なことを紹介しました。その中で、アクリルたわし作りが話題となり、2回目の協議体には浦川さんにも声をかけ2人で参加しました。その時に、構成員から「小学校で編み物の先生をやっていただけませんか」と言われて、現在講師を務めている正課クラブにつながりました。



2

協議体に参加してどんな変化がありましたか？

ふくろうの家 浦川さん 正課クラブの講師が決まった時は、この年になって小学校に行くなんて思いもしなかったものでびっくりしました。編み物未経験の子に教えるのは大変だけれど、「楽しい!」「家で作ってきたよ!」と言ってもらえてうれしかったです。次回も子どもたちとの会話や作品作りを楽しみたいです。

ふくろうの家 妹尾さん 協議体に参加したことで、小学校や地域とのつながりが広がりました。入所者さんが地域で活躍する機会が生まれ、施設のイベントにも地域の方が参加してくださるようになりました。地域との交流が増えて、入所者さん自身の笑顔や生きがいにもつながっています。



おかよし・きたよし地域包括支援センターからのメッセージ

協議体では、“地域おたく”と言われる方が集い、地域の方が持っている様々な情報や活動を発信する場です。お互いに情報交換する事で“繋がり”の輪が繰り広げられています。地域に埋もれている“お宝探し”でもあり、毎回、わくわくと新しい発見をしています。

おかよし地域包括支援センター(三好丘中学区) ☎ 33-4177

きたよし地域包括支援センター(北中学区) ☎ 33-0791



竹谷さん

?

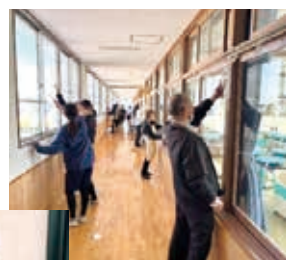
どんな活動？

行政区の区長を務めた経験から、子どもや高齢者を取り巻く地域の課題を身近に感じ、「地域の役に立ちたい」と、三吉小学校の地域コーディネーターとして活動する竹谷さん。学校と地域をつなぐ橋渡し役として、地域人材と学校を結び、子どもたちの学びを支えています。防犯パトロールや歌・ギターを生かしたボランティアなど、幅広い地域活動にも取り組み、人と人とのつながりづくりを大切にしています。

1

協議体に参加したきっかけは？

第2層協議体に初めて参加したのは昨年12月でした。なかよし包括のSCに「学校と地域を繋ぐことができたなら」と声を掛けられ、私たちコーディネーターが目指していることと合致していたので参加しました。どういう集まりか分からないしていると、他の構成員の方が、公的な井戸端会議だよと教えてくれました。社協、行政、障がい者施設、高齢者施設、その他ボランティア活動をしている方々など、多様な皆さんの集まりでした。



2

協議体に参加してどんな変化がありましたか？

参加した当初は、寄附してもらった手縫いの雑巾を、どこにどうやって配布するかを検討していました。私が加わったことで三吉小学校に寄贈することになり、それならなかよし地域の全小中学校に配りましょうと話が広がりました。協議体の中で、どこかの小学校では、地域の皆さんが小学校の窓ふきをしたという話を聞き、折角なら卒業式前にその雑巾を使って窓ふきをして卒業生を気持ちよく送り出しましょうとなり、地域の皆さん10数名で三吉小学校の窓ふきを行いました。その他、協議体のネットワークを通じて、苦慮していたクラブ活動のお手伝いをして下さる方が見つかりました。私だけのネットワークでは電波の届く範囲が限られていましたが、協議体に繋がることで一気にエリアが広がり、様々な情報も共有でき感謝しています。今後も、協議体のような共有できる場所や共有できる人の輪が広がり、地域と共に育つ学校や社会が活性化していくことを願っています。



なかよし地域包括支援センターからのメッセージ

協議体での情報共有や話し合いを通じて、支える、支えられるを超えた地域での活動や取り組みが生まれています。これからも地域の皆さんの声を聞かせてください。

なかよし地域包括支援センター(三好中学区) ☎ 34-6811



?

どんな活動？

毎月第2火曜日の午後に折り紙ボランティアのS様にグループホームあかりに来ていただき、入居者さんと一緒に折り紙を楽しんでいます。最近は折り紙で七夕飾りを作り、出来上がった作品を施設に展示しました。

1

協議体に参加したきっかけは？

昨年度、介護事業に携わる人向けに開催された協議体についての説明会に参加したことがきっかけです。

その時に2層のコーディネーターに協議体に参加しませんか？と声を掛けていただき参加をしました。



2

協議体に参加してどんな変化がありましたか？

元々、施設ではボランティアの受け入れをしていましたがコロナ禍でボランティアを休止し地域との交流が途切れてしまいました。その後徐々にボランティアの再開もしましたが、新たに施設で折り紙を教えてくれるボランティアさんはいないだろうか？と協議体で話をしました。

話を聞いた協議体の構成員さんが折り紙ボランティアをしているS様に声を掛け、ボランティアセンターの協力も得ながら活動開始に繋がりました。施設の入居者さんも折り紙の時間を楽しみにされており、施設のスタッフも入り、皆で輪になって賑やかに折り紙を楽しんでいます。

今後も継続していきたいと思っています！



折り紙ボランティア S様から一言 皆さんに楽しんでもらえるように毎回どのようなものを折るか考えながら活動をしています。

皆さんが「かわいい!」「これきれい!」と喜ぶ反応が見られるのが嬉しいです!



みなよし地域包括支援センターからのメッセージ

地域でこんな活動をしている、こんな活動をしてみたい!

あなたの思いを話してみませんか? 話をする中で新たな視点での気づきや発見があったり、人と繋がる事が出来ます! お気軽にご参加ください!

みなよし地域包括支援センター(南中学区) ☎ 33-3502